

第 75 回北関東中学校野球大会における熱中症対策について

大会期間中における熱中症事故の発生防止と発生時の対応について

1 熱中症予防について

(1) 大会運営側の対応

- ・ 救護所の設置
- ・ 消防署、医療機関との連携
- ・ 事前に、参加者、保護者等に熱中症予防について周知
- ・ A E D、氷、スポーツドリンク、経口補水液、アイスパックなどの準備

(2) 参加者側の対応

- ・ 選手の体調管理には十分に注意し、疲労、睡眠不足、発熱、風邪、下痢など体調がすぐれない場合は出場を控えるなどの対応をとること。
- ・ 十分な睡眠と食事をとるよう心がけること
- ・ 適宜、水分や塩分の補給をすること

(3) 試合における対応

- ・ 4 回終了時に 5 分間の給水タイムを設ける。状況によっては適宜給水タイムを設けることができることとする。
- ・ 各イニングにて守備時間が 20 分以上に及ぶ場合は 5 分間の給水タイムをとることができる。
- ・ 給水タイムでは、冷却・給水にあてるとともに、選手の体調を確認する。
- ・ 試合中に熱痙攣になった場合、当該選手を一時的に 5 分程度休ませる。再び同じ症状が出た場合は、選手交代を促す。

2 熱中症への対応、応急処置

- ・ 熱中症が疑われる場合には、涼しいところへ移動し身体を冷やす。経口補水液や塩分の補給を行う。
- ・ 一人で水分が取れないような状況の場合、症状が明確でなくても医療機関に搬送する。
- ・ 熱中症になり一時的に回復し帰宅する場合、1 人にならないよう注意する。
- ・ 救急指定病院 結城病院

結城市結城 9 6 2 9 - 1 Tel 0 2 9 6 - 3 3 - 4 1 6 1

※参考：R3 年 7 月改訂（公財）全日本軟式野球連盟危機管理マニュアル